

静岡県浜松医科大学救急専門研修プログラム (浜松医科大学医学部附属病院)

1 はじめに

初期臨床研修を終えた医師、あるいはすでに実際に救急診療の場で活動されている方のために、日本救急医学会救急科専門医を取得するプログラムとして策定いたしました。県内の多くの施設と連携をとり、各地で救急科専門医を目指す方にも対応いたします。



プログラム統括責任者 浜松医科大学医学部附属病院 救急部長 吉野篤人

2 目的

初期臨床研修を終えた医師あるいは卒後4年目以降でも救急科専門医をめざす医師を対象としています。

- (1) あらゆる救急疾患に first doctor として対処できる医師を養成する。
- (2) 救命処置に必要な Technical skill を習得する。
- (3) 重症患者対応において Commander となるための Non-technical skill を習得する。
- (4) 県内各地の基幹病院での豊富な症例数、病院前救急現場活動等の経験を通して、救急医療を担う人材を育成する。
- (5) 災害医療への対応：近年だけでも、大規模停電、新興感染症、土砂災害、巨大スポーツイベント等の災害への対応を行ってきた。静岡県の災害医療における中心的人材を育成する。
- (6) Subspecialty 獲得や研究活動について動き出せるようにする。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

浜松医科大学病院

(2) 専門研修連携施設

浜松医療センター、聖隷浜松病院、聖隷三方原病院、磐田市立総合病院、島田市立総合医療センター、藤枝市立総合病院、静岡赤十字病院、静岡市立静岡病院、静岡市立清水病院、伊東市民病院、緑泉会米盛病院（鹿児島県）、八戸市立市民病院（青森県）

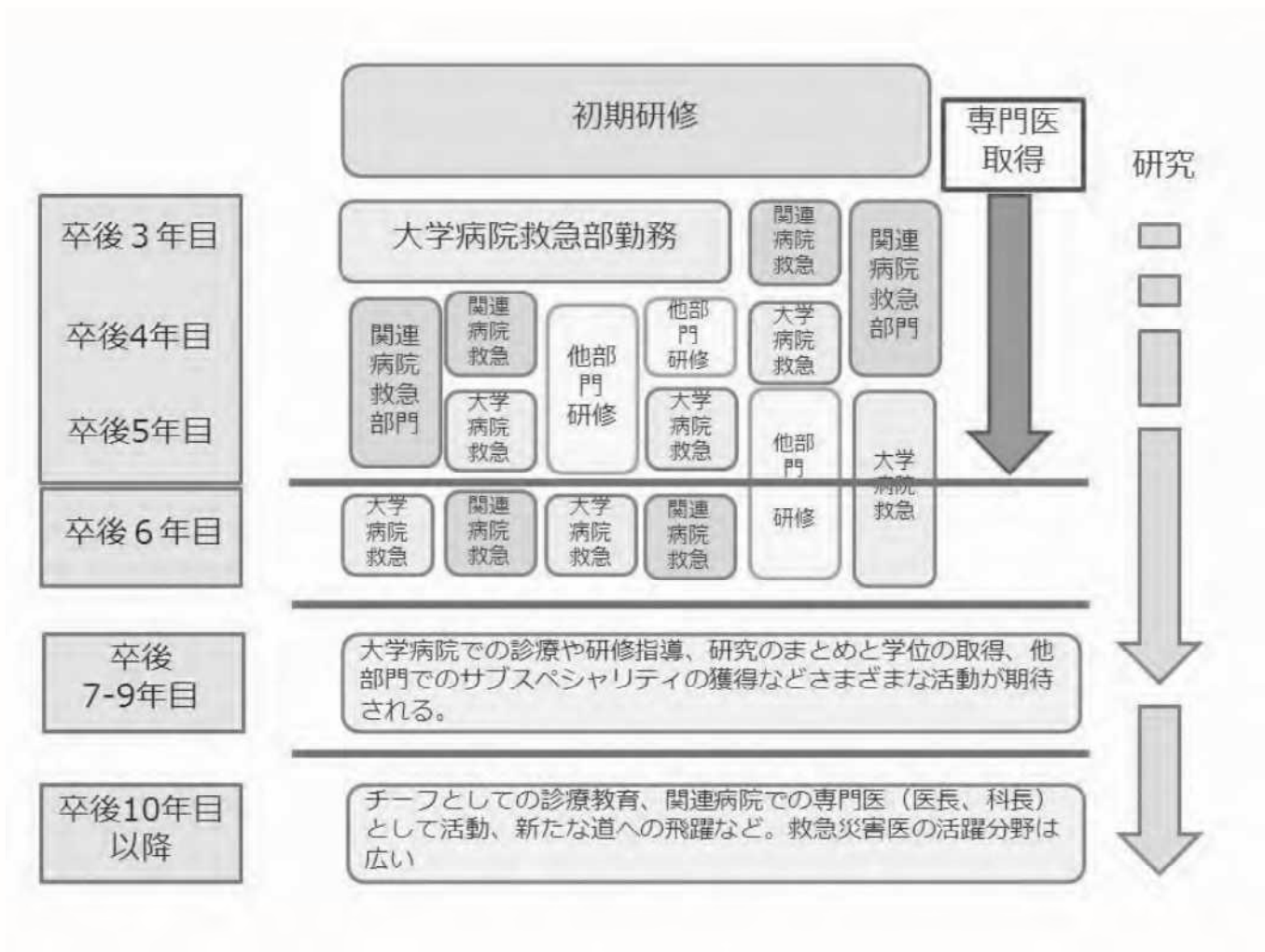
4 専攻医受入数

6名

5 研修期間

3年

6 研修計画（例）



上記は研修計画の例です。専門研修は3年であり、この3年間で様々な施設での勤務を通し、救急医として基礎的な Technical skill、Non-technical skill の習得を目指します。

ただし救急医には、救命救急型、ER型、プライマリケア型など、様々なタイプがあります。さらに外傷や中毒、災害医療などの特定の分野についてさらに研鑽を積みたい方も、外科、循環器科、整形外科など特定の科をサブスペシャリティとして持ちたいという方もいるでしょう。このような「多様性」を持つことも、救急医の特徴の一つと言えます。

本プログラムは3年間で一つの区切りとなりますが、「多様性」を尊重しながら本人の希望する救急医像を実現するため、専門研修中、研修後に関わらず、臨機応変な計画を立てることが可能なものとなっています。

7 問い合わせ先

〒 431-3192 静岡県浜松市東区半田山 1-20-1
 浜松医科大学附属病院救急部 部長 吉野篤人
 TEL:053-435-2759、FAX:053-435-2796
 e-mail : yoshino@hama-med.ac.jp